



親が率先して行い 子供を導こう

6月大教会教会長会議

立教182年6月22日

大教会長 片山幹太

本島通信

発行所 〒763-0223 香川県丸亀市本島町泊268
天理教本島大教会
 電話 0877-27-3321 (代)
 本島通信編集室 R.190625-0627-15
 奈良県天理市指柳町270-1
 本島詰所 〒632-0093
 電話 0743-63-1571 (呼)
 Email: news@honjima.com
 発行部数: 897部 (先月比±0)
 大教会 朝夕おつとめ時間
 [6月1日~8月31日]
 朝づとめ 午前6時00分
 夕づとめ 午後7時00分

先月(5月)のかなめ会で、中田善亮表統領より、来年からの「こどもおちばがえり」についてお話がありました。来年より日程が7月26日から8月2日までの8日間に短縮されることと、夕づとめ後に行われている「おやさとパレード」が再検討されることです。続いて、天理教校の久保善平校長よりお話がありました。

天理教校専修科には毎年80名ほどの新入生がいるそうですが、今年度は50余名と、かなり減少した状況になっています。子供達にはそれぞれ徳分や役割があると思いますが、まず高校卒業後の進路の選択肢の一つに専修科を挙げて頂きたいということです。

専修科はおちばで2年間、教理を学び、伏せ込ませて頂ける有難い学校です。どうか人材育成の上に専修科を心に置いて頂けますようお願いいたします。

さて、この季節になると大教会にはツバメがたくさん飛び回り、巣作りと子育てが盛んになります。

ツバメの子育ては健気で、オスとメスが協力しながら子育てをします。産卵するのは4~5月で、卵はメスが中心になって温め、2週間前後で孵化。雛にはオスとメスが交代で餌を与えますが、親鳥たちは1日に500回も巣と餌場を往復するそうです。

やがて梅雨を迎える頃になると巣立ちです。

私がじつと観察したところ、たいいてい2羽が一緒に飛んでいます。親鳥と子鳥と一緒に飛んでいるようにも見えます。ほとんどが、親鳥が前を飛び、その後を子鳥が追いかけているように見えます。

私はこの形が大事ではないかと思うのです。

子供のペースに親が合わせることも大事ですが、それだけでは子供の能力を引き出すことが難しいのではないのでしょうか。親が先に飛んで見せて、自立を促す。将来親離れたときに、今度は子供達がそれを次に伝えるのだと、親が子より先々へ飛んで教えているように見えるのです。親が子に背中を見せながら、「もうちょっとがんばろう」と

「もうちょっと遠くに飛んでみよう」と声を掛けていくようにです。

私たちも、子供に迎合するのではなく、子供を導いて、将来立派なようほくになるように、おちばがえり、上級教会への参拝、様々なひのきしんを率先してさせて頂きましょう。

真柱様の御身上のふしをお見せ頂いて、1年余りが経過しました。

私たちは有難い教えを教祖から教えて頂いているにもかかわらず、それを素直に実行しているでしょうか。おつとめを真剣に勤めているでしょうか。ものを大切にしているでしょうか。陽気に暮らしているでしょうか。

改めて教えを素直に実行しているかどうか、自分の心遣いを注意してみるのはいかがでしょうか。

最後に、来月はこどもおちばがえりが開催されます。

そこで7月26日、詰所に居る大人だけで「おやさとパレード」を見学に行きましょう。子供がいないと、大人はなかなか「こどもおちばがえり」の雰囲気味わう機会がないかもしれません。私も一緒に参加したいと思っております。

「おやさとパレード」を楽しませて頂きましょう。窓口は牧野道昭役員です。

以上です。ありがとうございます。

「二人でも多くの子供に おぢばがえりの喜びを伝えよう」

大教会准役員 岩橋 竜造
いわはしりゅうぞう

只今は6月の月次祭を、大教会長様を芯に一手一つにつとめさせて頂きまして、誠にご同慶に存じます。御命を頂戴いたしましたので、神殿講話を勤めさせて頂きます。



さて、私はNHKの放送番組が好きなのですが、皆様はいかがでしょうか。私の場合は、動物番組の映像美や、大河ドラマのテーマ音楽によく感動します。以前はドラマが苦手でしたが、最近妻と朝の連続テレビ小説を見るのが好きになりました。

またNHKの幼児向け番組では、小さい操り人形がトランペットを吹くシーンがあったのですが、その指先が実際にその曲を演奏する指使い通りに動いていることに気づいて驚いたことがあります。

幼児にしてみれば、小さな人形が、楽器を正しい指使いで演奏しているかどうかは、ほとんど分からないことでしょう。それでも相手が子供とはいえ手抜きをしないNHKの制作姿勢に大いに感動を覚えました。

今ではNHK番組が好きですが、子供の頃は民放のヒーローものやアニメ番組が好きでした。ところが、そこへ普段あまり家に居ない父が帰ってきたときは、NHKばかり見せられるのでつまらないと不足をしていたことがありました。

をやこでもふうくのなかもぎよた
いも みなめへくくに心ちがうで

(第五号8)

とおふでさきにあります。

親子であっても、夫婦や兄弟姉妹であつても、いんねんあつて引き寄せられた者同士ではありますが、各々がそれぞれの心を持っているのであります。性格が似ていないところがあるのも当然ですし、考え方にも違いがあります。

しかし考え方については、それぞれの人生の中で変わっていくものですし、変えていけるものであると思うのです。私が父のNHK好きに似てきたように、不思議と親に似てきたことがあります。それは少年会活動です。

父と母は若い頃、少年会本部の前身に当たる「縦の布教委員会」で御用を勤めさせて頂いて、それが縁で結婚したと聞いております。

また大教会でも父は少年会の団長を勤め、長年少年会活動に携わらせて頂

いておりました。

天理教少年会は昭和41年10月26日に創立しましたが、私も同じ昭和41年に生まれました。私は就学前から鼓笛隊に参加し、高校卒業後は鼓笛隊指導員を勤め、少年会委員も勤めさせて頂きました。生まれた時から今までずっと少年会です。

少年会員は0歳から中学3年生までの子供達のことを指します。高校生以上は「育成会員」となります。つまり、私たちお道を信仰する大人は皆、道の子供達を育てる大切な役割を担っているのであります。

天理教少年会の設立の理念の一部に「子供に信仰の喜びを伝えるには、まず親の立場にある者が、み教えに添った考え方、暮らし方をし、喜びに満ちた日々を送っていることが大切です。親の生き生きとした信仰生活の喜びが、子供の心身の成長に大きな影響を与えるのです。つまり、信仰的に子供を育成するには、親も心の成人を遂げていくことが望まれます。したがって、『縦の伝道』の基盤は家庭にあるのです。」

と記されています。当然のことかもしれませんが、お父

さん、お母さん、またお祖父さん、お祖母さんと、まず家族ぐるみで子供達に陽気ぐらしの喜びを伝えていくことが大切なのだと思います。

真柱様は教祖130年祭が勤められた「立教179年少年会年頭幹部会」において、「さあ〜実を買うのやで。(明治20・1・13)て実を買うのやで。(明治20・1・13)

と、仰せられます。いまは年端のいかぬ子供であつても十年、二十年、三十年先を見据えて真実を尽くして伝える信仰の喜びは、必ず子供たちの中に残り、いづれよぶべくという立派な実を結ぶ御守護を頂く糧となると思います。育成会員である人の幅広い年齢と豊富な経験を生かして、育成会員同士がたすけ合い、一手一つの心で子供達の成人を手だすけし、これからも道の人材を育てるうえにしっかりとおつとめいただきたいと思つのであります。」

とお話くださいました。

私は大教会で生まれ育ちましたが、その当時大教会には40人近くの子供がいたように思います。そこで女子青年のお姉様方が面倒を見てくれて、よく叱られもしましたが、神様のお話、おてふりや鳴物の練習、お楽しみ会など、様々なことをしてくれて本当にお世話

になりました。

いま考えると、子供達に直接関わっていたのは女子青年さん達でしたが、大教会長様、奥様をはじめ、先生方、ご婦人さん、青年さんの誰も彼もが丸となって、それぞれの立場で少年会員を育ててくれたように思い出されま

す。子供達のために皆が力を合わせて、ということを一番強く感じるのが少年会活動の頂点と言われる夏の「こどもおちばがえり」です。

こどもおちばがえりでは、少年会長であられる真柱様を始め、ご本部の皆様が総出で準備をしてお迎え下さいます。私たちには見当つかないほど大勢の人たちが暑い中、一生懸命にそれぞれの部署でひのきしんをして下さっています。本部会場だけでなく、各話所の世話取りの皆様や、各教会から子供を連れて帰る引率者の皆様など、たくさんの方がひのきしんをして下さいます。真柱様の思いに沿って、一手一つに子供達に楽しんでもらいたい、喜んでもらいたい、その一心で真実を尽くされているのがこどもおちばがえりなのです。この親の思い、たくさんの人たちの真心が詰まったこどもおちばがえりに参加しないともったいないと

思つのです。

私も団長という立場から、ご本部では「やかた講話」のひのきしんをさせて頂きます。「やかた講話」とは、子供達に神様のお話を取り次がせて頂く仕込み行事で、基本的に1隊ずつ仕切ってお話をさせて頂きます。

毎年、たくさんの隊が参加されます。大人数の隊もあれば、少人数の隊もあります。

あるときは若いご夫婦と、ベビーカーに乗ったまだ1歳にも満たない赤ちゃんの3名で参加された隊がありました。私はベビーカーの赤ちゃんに向かっていつものように20分ほど神様のお話をさせて頂くのですが、もちろん赤ちゃんは私が何を言っているのか理解していません。では、なぜこのご夫婦は赤ちゃんをこどもおちばがえりに、さらに「やかた講話」に連れて来られたのでしょうか。きっと将来この子に幸せになつてもらいたい、立派なようぶくになつてもらいたいとの一念からだと思ひます。

また、やかた講話には、大人だけで話を聞きに来られる場合もあります。そのとき困つてしまうのは、やかた講話には台本があり、私はほとんど暗記に近い形で子供向けに準備して臨んで

いますので、アドリブのできない私は大人に対しても子供に向かつて話すようにしか話せず、奇妙な雰囲気になつてしまうことです。

話を伺うと、こどもおちばがえりの勧誘をされている道中にをいがかった方を初めておちばにお連れして、別席を運ばれた後、「やかた講話」の看板を見つけて、せっかくなので聞かせて頂くとういうことでした。

こどもおちばがえりは、子供を連れていないと参加できない行事ではありません。大人お一人だけでも参加できます。今は子どもがいなくても、将来のことを思い、願つて、勇んで参加させて頂く。それがこどもおちばがえりなのだと思います。

私は団長の任命を戴くまで、各教会からこどもおちばがえりに参加される様子を見る機会がありませんでした。

団長になり、話所で受け入れひのきしんをさせて頂くようになって、暑い中を先生方が一生懸命に子供を引率する姿を拝見し、改めてこどもおちばがえりの大切さを思ひました。子供達に声を掛け、いろいろと準備をして、おちばに連れ帰るといふことは、本当に力の要ることだと思ひます。しかしながら、力の要ることだからこそ、親神

様・教祖から戴けるものも大きいのではないでしょうか。「価を以て実を買う」のであります。

今年のこともおちばがえりも一人でも多くの少年会員をお連れ帰り頂けますようお願い申し上げます。

周囲に声を掛ける子供がいないので参加できないという隊もあろうかと思えます。その場合、会長さんお一人でも結構ですから、どうぞ期間中おちばへお帰り下さいまして、子どもおちばがえりの雰囲気味わって頂けますようお願いいたします。

子どもおちばがえりと同様に、少年会員の参加をお願いしたいのが本島団の「少年会おつとめ総会と夏のつどい」です。

大教会成人目標の一つに「おつとめの勤修」があります。陽気ぐらし世界実現のために教祖がお教え下されたおつとめを勤め修めることは、私たちようばくにとつてかけがえのない大切なことでもあります。

本島の道につながる子供達が、一つの目標に向かっておつとめや鳴物の練習に励み、年に一度共に集い、一手一つにおつとめを勤めさせて頂く姿を親神様、教祖にご覧頂きます。

例年は大教会で開催しておりますが、今年8月5日に本島詰所で開催となっております。ぜひとも子供達に、たくさんの仲間とおつとめを勤める喜びを経験してもらえよう、参加の声掛けをお願いいたします。

最後に一点、鼓笛隊への参加のお願いであります。

真柱様は立教180年の「年頭幹部会」において次にお話し下さいました。「みんなが互いにたすけ合って暮らす陽気ぐらしが独り善がりにならないよう、子供の間から教えていかなければならないことはいろいろあると思えますが、その中でいくつか挙げてみると、教えられたことを不平を言わずに実行するというのが挙げられると思っております。そして、それと関わると思いますが、たとえばいまは分からなくても素直に実行することが大切であることも、教えなければならぬと思っております。また、集団で一つの目的を達成するためには、みんなの合力と、一人ひとりがそれぞれの役割の責任を果たすことが大切であることも、教えていくべきことの一つだと思っております。加えて団体で行動する

るときには、より以上にそれぞれが決まりを守ること、これも少年会での経験の中で教えることができることだと思っております。

少年会の活動のうち、たとえばおつとめや鼓笛の練習は、そのための格好の場になるのではないかと思うのであります。」

と、陽気ぐらしを子供達に教えるための格好の場所として、おつとめの練習、そして鼓笛の練習を挙げて下さっております。

子供達にとつて鼓笛の練習は辛いと思うこともたくさんあると思えます。しかし、だからこそ得られる感動や経験も大きいと思っております。

本人の意志だけで鼓笛に参加している子供は少ないでしょう。親御さんの後押しが非常に大切なのであります。どうか鼓笛隊につきましても、これまでも以上のお力添えを賜りたいことをお願いいたします。

以上、お願いばかりになってしまいました。以上、人材の育成が急務とお聞かせ頂きます。一手一つに本島大教会の将来を担う子供の育成に力を注いで参りましょう。

ご清聴ありがとうございました。

(文責・本島通信編集室)

訃報

大教会在籍婦人

吉田節子 姉



吉田節子姉(前の本島大教会役員吉田喜一主夫人)は6月3日午前6時35分お出直しになりました。享年96歳。

葬儀は、みたまうつしが6月4日午後7時より、告別式が翌5日午前10時30分より、大教会長斎主のもと本島大教会にて執り行われました。

長年、大教会在籍婦人として勤められ、「吉田のおばちゃん」と親しまれていました。特に和裁に秀でていたことから、夏の少年会おつとめ総会では、子供達のおつとめ着の準備管理などを責任もって勤められました。

六月月次祭 祭典役割

献饗長 片山勲
伝供 西山道教・篠原丕王・永山晴明・岡崎八十則・岩橋竜造・平井真治郎・向所隆文・永島宗行・大上道徳・後藤正治・奥村龍夫・伊東康成・吉田知彦・高島栄造・大西剛・上山康雄・宮路和徳・川村吉夫・茶屋原良

昭・位下道治・渡部友見・宮路茂照・山下英久・鎌田典夫・須崎晴道・柴田久生・溝口晋太郎・倉嶋孝明
雅楽奉仕者 文岡育則・高垣光治・雲庵春彦・横関茂治・片山直明・長尾海和・岩橋守行・鎌田康典(順不同)

祭主 指図方	大教会長		寺本教生		吉田晴雄	
	井上哲	扨者	老木邦光	賛者	原口実	
地方	岡崎俊郎	吉田晴雄	伊東康成	座りづとめ	てをどり前半	てをどり後半
てをどり	大教会長 片山勲 寺本管一郎 會長夫人 片山やすゑ 長尾澄子	篠原丕王 岡崎八十則 奥村龍夫 向所暉美子 雲庵まち子 岡崎むつゑ	平井真治郎 岩橋守行 雲庵春彦 菅岡和美 高垣洋子 片山美穂	岩橋竜造	高島栄造	倉嶋孝明
ちやんぼん 拍子木	片山肇	片山直明	長尾海和	大教会長	片山勲	寺本管一郎
太鼓	高島清弘	大上道徳	大西剛	雲庵道延	永島宗行	長門淳一
すりがね	雲庵道延	高垣光治	山下英久	永山晴明	後藤正治	川村吉夫
小鼓	西山道教	向所隆文	上山康雄	片山道教	宮本幸子	岩橋元実
三味線	池田さわみ	原口和子	榮信江	花田菊子	梅木澄代	
胡弓	岩橋竜造					

六月月次祭祭文

立教百八十二年六月二十二日

これの神床にお鎮り下さいます親神天理王命の御前に天理教本島大教会長片山幹大慎んで申し上げます。

親神様には、一れつ子供の陽気ぐらしを樂しみに、この世、人間をお創め下され、限りない御守護とだんだんのお仕込みとにより、ひたすら成人の道をお連れ通り下さいます親心の程は、誠に有難い極みでございます。

私共は、及ばずながらも、常に元一日の理を心に治めて、思召にお応えさせて頂けるよう、日夜勇んで御恩報じの道につとめさせて頂いております中に、今日の吉日は、当大教会の月次の御祭を勤めさせて頂く日柄を迎えましたので、只今からおつとめ奉仕者一同、心を一つに合わせて、坐りづとめ、てをどりを陽気に勇んでつとめさせて頂き、六月の月次祭を執り行わせて頂きます。

御前には、今日を楽しみに、帰り集いました教え子たちが、鳴物の調べにおうたを唱和して、心を揃え、一手一つに勇む姿をご覧下さいまして、親神様にもお勇み下さり、よろづたすけの上には更なる自由の御守護を賜りますようお願い申し上げます。

尚、おちばでは、この月二十四日三代真柱様、中山善衛様の五年祭が勤められるに当り、御生前中に賜りました幾多の御遺訓とお導きの数々にお応えさせて頂きたいと決意いたしております。

更に、来る七月二十六日から八月四日まで、「立教百八十二年こどもおちばがえり」が開催されますが、当本島鼓笛隊をはじめ、それぞれの教会で培われた一年間の育成活動の成果の頂点

であるこの旬に、どの教会もが声掛けに努め、一人でも多く、おちばにお誘いして、お待ちかね下さる教祖にお喜び頂き、また、少年会長であられる真柱様にご安心頂きたいと存じます。

加えて、天理教婦人会「創立百十周年記念決起の集い」に、未だその声に解れられていない会員には、万障繰り合わせて、最寄りの会場にお誘いして参加して頂けるよう根気よく努めさせて頂く所存でございます。

真柱様を通してお見せ頂いたふしから一年が過ぎ、親神様の思召に適った、陽気ぐらしをする人間本来の姿に向かつて、さらなる芽が出ますよう、私共一同、日々教えの実践と心の入れ替えに歩ませて頂く決心でございます。

何卒、親神様には、この上共に変わらぬ親心を賜り、一層のお導きを以て陽気ぐらしへの道にお連れ通り下さいますよう、一同と共に慎んでお願い申し上げます。

(原文のまま)

入社祭

(立教182年6月22日)

▼吉峰△日永祐人

【計1名】

6月22日(土)

【香川県丸亀市】

天候 晴後薄曇
 最低気温 20.1℃
 最高気温 28.7℃
 平均気圧 1003.7 hPa
 平均湿度 77%
 平均風速 1.8 m/s
 日照時間 5.7 時間
 降水量 0.0 mm

事情いろいろ

立教182年6月、本島関係のお運びはありませんでした。

修養科第936期修了

(立教182年6月27日修了)
 御幸濱 後藤郁枝
 栄東峰 川村美穂
 栄東峰 川村幸代
 實峰 山内智子
 【計4名】

教会長資格検定合格

(立教182年5月付)
 本廣 白垣初生
 【計1名】

教人登録

(立教182年5月17日付)
 本高 菅岡あや
 【計1名】

おさげお取り次ぎ報告

(立教182年6月22日)
 報告数 1,273回
 累計 8,584回
 ※前年同月累計比 687回減

をびや許し

(立教182年5月分)
 ▼本田中△谷口由佳 ▼本小倉△末松めぐみ ▼雅峰△小西萌子 ▼實峰△林沙也加
 ▼別峰△小川紗希 ▼文峰△福留千晶 ▼肥後八峰△大野智香△細見博子 【計8名】

大教会長動向

▼7月(予定)▲
 1日、本部神殿奉仕当番
 3日、16日、海外巡教
 5日、シアトル教会参拝
 7日、シートタック教会
 創立90周年記念月次祭
 9日、ポートルランド教会参拝
 12日、レイニア布教所参拝
 13日、バンクーバー布教所参拝
 22日、大教会月次祭執行
 24日、修養科総立ちまなび
 26日、本部月次祭参拝
 26日、29日、こしもおちぼがえり
 やかた講話
 30日、本部神殿奉仕当番
 以上

証拠守り下附

(立教182年5月分)
 大松峰2、善峰1 【計3名】

青年会部属分会委員長承認

(立教182年6月22日)
 本新田 友松貴史
 以上

少年会隊長任命

(立教182年6月22日)
 樺太隊 平井勇成
 本府中隊
 カイ朗スチュワート
 本陽山隊 大隈真心音
 霊峰隊 宮路愛珠
 仙峰隊 奈良場亜依梨
 以上

辞令

(立教182年6月22日付)
 本島大教会信者世話所(追加)
 副主任 後藤正治
 副主任 奥村龍夫
 副主任 伊東康成
 以上

各地の動き

レッツゴー青年会

青年会本島分会(片山秀明委員長)では、各地の教会を賑やかにし、教会につながる青年会員と共にひのきしんを行うことを趣旨とする「レッツゴー青年会勇み隊」を立ち上げ、去る5月8日には本清水分会(岩橋竜造会長、香川県丸亀市)、6月8日には攝良分会(香川勝巳会長、奈良県香芝市)において活動。本清水分会(写真左)ではみかん狩りと草刈り、攝良分会(写真右)では樹木の伐採ひのきしんを行いました。

野球部は県予選敗退

本島野球部(岡崎八十則部長)は、6月1日に橘ノ丘総合運動公園(高松市)で開催された全教野球大会香川県予選に出場しましたが、香川大教会に2対3、高松大教会に0対15の0勝2敗を喫し、予選敗退しました。

ろくちん

(立教182年6月分)
 ▼本島△片山幹太・片山かおり・香葉子・幹太郎・好次・昇太△長尾真実・幸太△片山秀明△藤山さちよ ▼樺太分会 ▼本樺△大上ほの香・はる香・太吉 ▼本浜△片山清枝・正枝・誠 ▼本攝分教会 ▼崇徳分会 ▼ポートル△片山和信・陽子・昇慶・竜次 ▼シートタック教会
 ご芳志に厚くお礼申し上げます



攝良分会

本清水分会

にをいがけ名簿提出教会 (6月)

本島	0	本邦	1	栄峰	28
本樺	12	本府中	3	大雄峰	39
本室	6	崇徳	16	雄福峰	40
渋谷	21	本宣道	4	雄山峰	15
本桶川	3	本陽山	2	栄森峰	34
本萬代	2	本新田	3	栄星峰	3
本都	57	赤峰	24	栄東峰	20
本京	70	雅峰	1	霊峰	7
本草	26	吉峰	7	實峰	5
本日米	3	豪峰	42	吉松峰	40
本千代	53	倉峰	2	吉鶴峰	60
計 33 教会		649 名			

お知らせ
記念祭の日程が決まりました

本島大教会創立120周年記念祭 立教185年(令和4年)5月21日(土)

統計 (5月1日～31日)

教会名	初席	中席	参り の種	修 繕 料	教 人 講 習	検 定 講 習
本 恵		1				
本 恵		3				
本 幹		2				
本 中		1				
本 廣						1
本 九		1				
赤 峰		1				
雅 峰		1				
南 峰	1	2				
吉 峰		1				
神 峰	10	10				
豪 峰		2				
栄 峰	1	2				
雄 山 峰	1	2				
栄 森 峰		2				
栄 東 峰	1	1				
実 峰		3				
大 隅 聖 峰		2				
大 松 峰	1					
別 峰	1	1				
吉 松 峰	1	2				
肥 後 八 峰	1					
鶴 峰	2	1				
善 峰		2				
仙 峰		1				
エヌ・シー	1					
合 計	21	44	-	0	0	1

おつとめ総会とおちばのつどい

【少年会本島団】

立教182年(第30回)

少年会おつとめ総会とおちばのつどい

●期日：8月4日(日)午後3時受付、5日(月)午後1時頃本部参拝後解散

●会場：本島詰所4階講堂

●対象：小学生、中学生、幼児(鳴物、おてふりができる未就学児)

●参加御供：1人500円(宿泊、食費は別に各自でお納め下さい)

●日程：4日受付、開会式、リハーサル、お楽しみ会。5日おつとめまなび総会、閉会式、本部参拝

●携行品：着替え、洗面具、保険証(またはコピー)

●おつとめ役割に当たっている人は下記の小物をご用意下さい。

男子：白Vネックシャツ、ステテコ(汗取り)、足袋(タビックス可)

女子：白Vネックシャツ、裾よけになるもの(汗取り)、足袋(タビックス可)
琴の役割者は各自自分に合う爪をご持参下さい。

※持ち物には必ず名前を記入して下さい。

※詰所での宿泊、食事、入浴は各教会毎にお世話取りをお願いします。また宿泊、食事の予約も各自でお願いいたします。

●おつとめ総会地区役割

座りづとめ：各教会地区代表者(担当：茶屋原良昭)

よろづよ八首から三下り目：本京分教会、四国地区、山陰地区(担当：牧野近弘、倉嶋孝明、高垣洋子)

四下り目から六下り目：赤峰分教会、九州地区(担当：大矢万三、宮武有為子)

七下り目から九下り目：本攝分教会、阪神地区(担当：片山直明、柴田久生)

十下り目から十二下り目：渋谷分教会、本浜分教会、北海道地区、東海地区、中国地区、海外(担当：後藤正樹、大上道徳、茶屋原良昭、岩橋元博)

夏季ひのきしん派遣依頼

【総務部】

〈大教会・食堂ひのきしん〉

●期間：7月21日～22日

●派遣教会：本樺①、本京②

〈大教会・鼓笛隊夏季合宿ひのきしん〉

●期間：7月26日～8月1日

●派遣教会：渋谷①、同朋①、本承德①、本攝①、本篠①、那波①、琴浦①、阿波本徳①、安藝本中①、本豊後①、赤峰②

〈詰所・こどもおちばがえり前期〉

●期間：7月24日20:00～28日19:00

●派遣教会：本樺①、本京①、本浜①、本攝①、本篠①、那波①、琴浦①、阿波本徳①、安藝本中①、本豊後①、赤峰②

〈詰所・こどもおちばがえり中期〉

●期間：7月28日19:00～8月1日19:00

●派遣教会：渋谷①、本京①、本浜①、本邦①、仁徳①、張家口①、本岡①、撫川①、本中国①、馬木尾①、赤峰②

〈詰所・こどもおちばがえり後期〉

●期間：8月1日19:00～5日13:00

●派遣教会：樺太①、渋谷①、本京①、本浜①、本攝①、本邦①、本篠①、本海①、本宣道①、本九①、赤峰②

青年会室懇親会 休止のお知らせ

【青年会本島分会】

毎月、大教会月次祭前夜に青年会室で開催しておりました「懇親会」は、本年10月以降、無期限休止いたします。ご了承下さい。

夏の行事予定

〈婦人会〉

●MOMOの会

期日：8月4日18時より

会場：本島詰所

対象：若いお母さん、ならびに少年会員を子育て中のお母さん

〈青年会〉

●雅楽練習会

期日：6月23日15時から17時30分
8月25日(時間未定)

会場：本島詰所

〈学生会〉

●サマーキャンプ

期日：8月6日(火)から8日(木)

会場：本島詰所



立教182年こどもおちばがえり

【少年会本部】

- **期間**：7月26日より8月4日まで
- **テーマ**：「ありがとう！
よろこびつなごう おやさとへ」
- **日程計画書の申込み期間**は、5月1日より7月17日(必着)です。所定の日程計画書に行事番号・行事名を正確に記入し、少年会本部に持参もしくは郵送にてお申し込みください。(要項参照)
- 少年会本部に提出された日程報告書は、本島詰所にも帰参日程と人数をお知らせ下さい。家族やグループでも必ずご報告下さい。

ガイドブック頒布開始

- **ガイドブック** 1冊 50円(税込)
チラシ1包 50枚 150円(税込)
バッジ1個 40円(税込)
- **頒布について**：5月25日より、少年会本部、または道友社各販売所にてお求め頂けます。
- **お問合せ**：〒632-0035 天理市守目堂町213-4 おやさとやかた真南棟4階 天理教少年会本部会計課
TEL 0743-63-1954・Fax 0743-63-4625

学生生徒修養会高校の部

【本部学生担当委員会】

- **期間**：8月9日より8月15日まで
8月9日午前9時までに詰所に集合。
8月15日正午ごろ詰所にて解散。
- **受講対象**：高等学校に在学し、全期間受講できる者(親里管内の高校生は天理高等学校第1部の自宅通学生に限り受講可)
- **受講御供**：1万円(受講御供1万円のうち、半額を大教会ろくち会より助成いただきますので、5千円を詰所に納めて下さい)
- **受付期間**：5月25日より7月25日(必着)
- **申込方法**：受講願書1通(大教会長の捺印が必要です)、返信用封筒1枚(保護者

第108回本島団鼓笛隊夏季合宿開催要項

【本島団鼓笛隊】

2020年8月、東京ディズニーリゾート出演を目指しています。

- **集合**：7月26日夕刻まで大教会集合
- **解散**：8月5日(本島詰所で解散)
- **合宿内容**：大教会：鼓笛練習・修練・海浜行事など。天理：御供演奏・鼓笛オンパレード・おちばがえり諸行事参加
- **本番プログラム**：8月2日(金)おやさとパレード出演。8月3日(土)御供演奏・鼓笛オンパレード・後夜祭(詰所4階講堂)。8月4日(日)鼓笛隊行事終了・おつとめ総会とおちばのつどい参加。8月5日(月)おつとめ総会・午後解散(各分隊解散)
- **参加資格**：小学1年生より高校3年生までの男女(幼稚園児不可)
- **合宿会場**：本島大教会、本島詰所
- **参加御供**：小中学生7,000円、高校生8,000円。お米3升または1,500円。船賃については分隊担当者へお尋ね下さい
- **服装**：合宿期間中は、練習着(帽子、シャツ、短パン、ポシェット)貸与
- **携行品**：楽譜、ファイフ(1000円でお分けいたします)、健康保険証コピー、健康チェック用紙、宿題、筆記具(学習時間があります)、着替え、パンツ5枚、靴下5枚、パジャマ1セット(期間中一度洗濯します)、洗面道具(歯磨きセット、タオル)、風呂道具(シャンプー、リンス)、室内用運動靴(練習で使用しますので、普段履きなれた外履きを拭いて持参しても結構です)、海浜行事に必要なもの、水着、ビーチサンダル、バスタオル、海に着ていける私服(水着の上から着用できる物)、日焼け止めが必要な人は持参ください。本番用の白い靴(練習用と兼ねても結構です。裏地も白。ハイカット靴はご遠慮下さい)
☆ドリーム隊(小1～小3)のみ：白のノースリーブ又は袖無しシャツ、白ブリーフ(本番用・各2枚)

- **注意点**：持ち物には必ず名前を記入して下さい。携帯電話は禁止、期間中はお預かりします。電気製品持ち込み厳禁(ヘアドライヤー、ヘアアイロン、MP3等プレイヤー、ゲーム機、iPad、デジタルカメラなど)。インスタントカメラは可。不必要な金銭は持たせないでください(現金を持たせる場合は、お預かりする関係上、小さめの財布に入れて下さい。長財布不可)。集合から解散までの食事、おやつ類は用意します(衛生管理上、持ち込みの場合はこちらで処分いたします)。期間中、ご父兄の方の宿舎立ち入りはできません。御用の際は指導員にお申し出ください。

●補足説明(よくお確かめ下さい)

- ・ 合宿期間中は、次の隊編成および班編成で行動をとります。小1～小3までドリーム隊、小4～中3まで本隊。
- ・ 健康チェック用紙に詳しく病状をお書きの上、服用中の薬はご持参ください。
- ・ 夜回りの際、事前申し出のある場合のみトイレに起こしますので、チェックカードにご記入下さい。
- ・ 合宿参加前に必ず爪を切って来て下さい。
- ・ 歯は各自で磨きます。仕上げ磨き等はしませんので、事前練習をお勧めします。
- ・ お風呂は班単位で入ります。自分で洗いますので、事前練習をお勧めします。
- ・ 身体を洗うナイロンタオル、身体を拭くタオルは入浴時配布します。石けんはお風呂に常備しています。
- ・ 学習時間がありますので、学習道具をご持参ください。
- ・ カバンの中身は、お子さんと確認しながら一緒にご用意頂き、整理しやすい状態に小分けすることをお勧めします。
- ・ 洗濯は8月2日まで毎日行いますが、それ以降の汚れた衣類は持ち帰ります。汚れ物を入れる袋をご用意下さい。
- ・ 本隊での参加の際はファイフが必要です。1000円でお譲りいたします。
- ・ 練習用の室内履きを必ずご用意下さい。
- ・ 本番用の白靴と、ドリーム隊参加者は白い袖無しシャツ、白ブリーフが特に忘れやすいのでご注意ください。

- 鼓笛隊入隊についてのご相談・合宿についてのご質問は、鎌田典夫(090-8167-7234)まで。

<https://www.honjima.com/>

本島大教会ウェブサイト

氏名、住所、郵便番号を記入し、82円切手を貼付してください

- 詳細については本島学生担当委員会(池田さわみ 080-1915-3870)まで。